

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、震度7の地震及び津波により、広範囲にわたり甚大な被害が生じました。この地震でお亡くなりになられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、今もなお避難生活を余儀なくされている被災者の皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

本市ではこれまでも、大規模災害発生時には、被災地域への支援として義援金等の対応を行ってまいりましたが、この度につきましても被災状況を鑑み、1月19日に日本赤十字社を通じ、災害義援金100万円をお送りしたところでございます。

また、市立病院におきましては、災害派遣医療チームDMA T（ディーマツト）を1月11日から派遣し、医療活動本部がある七尾市の能登総合病院を起点に5日間活動し、本部の調整業務、医療機関等の支援、患者搬送などを行い、19日に無事帰着しております。DMA Tにつきましては、追加の支援要請があり、2月1日から再度派遣することとしており、珠洲市内を活動拠点に、2月2日から3日間の活動を予定しております。

さらに、上下水道部におきましては、公益社団法人日本水道協会からの要請により、給水支援のための職員及び給水車の派遣を行うこととしており、2月6日から18日まで、職員7名及び給水車等の車両2台を派遣し、珠洲市または七尾市の応急給水活動の支援を予定しております。

本震災につきましては、インフラの復旧など長期に渡る対応が見込まれており、本市といたしましては、今後とも国や北海道、関係機関と連携しながら、可能な限りの支援に努めてまいります。

次に、案件2「苫小牧市立病院長人事について」でございます。

長年、市立病院の経営にご尽力いただいております院長の松岡^{まつおか}伸一^{しんいち}先生が、本年3月末でご勇退されることとなりました。

その後任として、現在、副院長の堀田^{ほりた}哲也^{てつや}先生が就任されることが決定いたしました。

堀田先生の経歴につきましては、資料をご参照ください。

次に、案件ではありませんが、岩倉市長の近況についてご報告いたします。

現在も、自宅療養を継続しながら公務復帰に向けたリハビリテーションに専念しているところでございます。

また、2月中旬開会予定の市議会定例会に向けて、令和6年度市政方針や予算について、担当部から報告を行いながらスムーズな公務復帰に向けて段階的な調整を行っている状況でございます。

この間、市長職務代理者として職務に当たらせていただいておりますが、山本副市長をはじめ、職員一丸となって市政運営に努めてまいりますので、岩倉市長の公務復帰に向けて、今しばらく、見守っていただけたら幸いです。

案件の説明は以上でございます。質問があればお受けいたします。